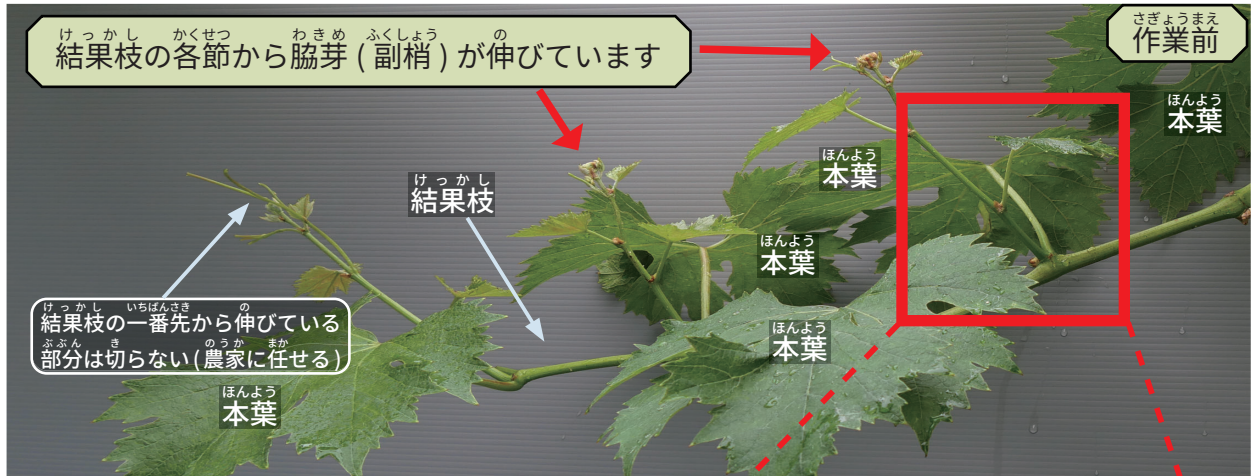


# ぶどう脇芽 (副梢) の処理 作業マニュアル

作業内容：結果枝の各節についている大きな葉（本葉）の付け根から伸びている脇芽（副梢）を切り落とします  
切る位置は、脇芽の葉のうち一番下の葉を残して、その先をハサミで切ります

## 【処理前】



<脇芽の部分を拡大>

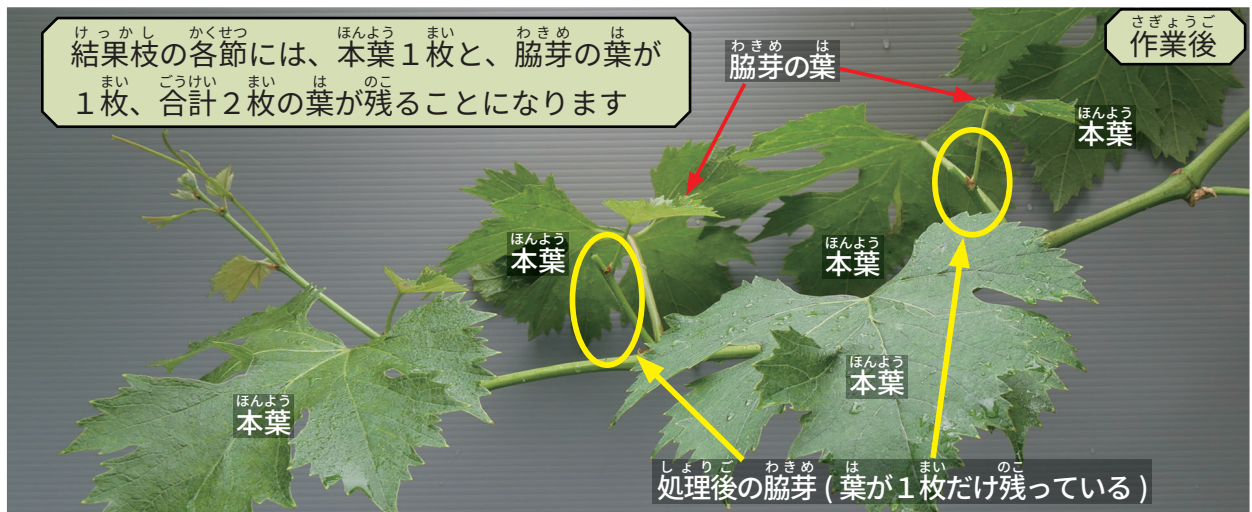


ほんよう の つけ ね から の 伸び ている わきめ の 葉 の う ち、 最も 根元 に 近い 葉 を 1 枚 残 し、 そ の 先 を 切 る

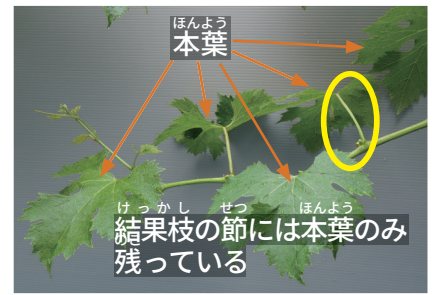
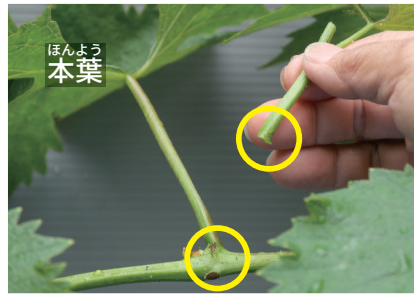


「ほんよう 1 枚、脇芽の葉 1 枚残して切る」と声かけしながら、切る位置を確認する

## 【処理後】



参考：農家の方針や作業時期によっては、脇芽についた葉を1枚だけではなく、2～3枚残したり、逆に脇芽全体を結果枝から切り落とす場合（下の写真の例）もあります  
いずれにしても本葉は必ず残しますので、間違っ切り落さないように注意しましょう



## ● 作業スキルや精度を高めるために (指導員が心がけること) ●

- ① 指導員の指示が無くても自力で遂行できることを確認しておきましょう (事前準備)  
※遂行：立ったままの姿勢で「ハサミを用いて脇芽を切りとる」工程
- ② 作業のしやすい枝 (見分けやすい枝、手の届きやすい枝) から作業を開始しましょう (段階付け)  
※本葉と脇芽から伸びている葉の見極めをすることがこの作業のポイントとなります
- ③ 作業になれるまでは作業スピードよりも正確性を重視して行うよう誘導し、指導員は必ず確認しましょう (段階付け)
- ④ 定期的に休憩時間を取り、作業再開時にはポイントを再確認しましょう (集中力の維持)
- ⑤ 仕上がり状況を随時確認して、必要に応じて対象者にわかりやすいアドバイス・モデリングを行いましょ (精度の向上)
- ⑥ 農家に同じ園地で作業を行ってもらい、適宜作業状況の確認やできていることを中心に声かけを行ってもらいませ (意欲の向上)

## ● マニュアルの使用にあたっての注意事項 ●

- ① ぶどうの房には、手で触れたり、頭 (帽子) をぶつけないように気をつけましょ  
果実の表面をうっすら覆っている白っぽい粉のようなもの (果粉) がとれると商品価値が落ちます
- ② 脇芽が混み合っている場合、結果枝と脇芽の区別がつきにくくうまく処理できない場合があります
- ③ このマニュアルは、開花後の脇芽管理での活用を想定しています (開花前は方法が異なるため農家が実施します)
- ④ この写真では脇芽が10数センチ伸びていますが、これより短かったり長い場合もあります
- ⑤ ハサミを使った作業が危険とされる場合は、手で脇芽を摘み取る場合もあります (事前に農家に相談して下さい)
- ⑥ 脇芽の処理に慣れてくると、結果枝の各節から伸びてくる巻づるの処理 (カット) を同時に行うことができます

協 力 (一社) 岡山県作業療法士会  
岡山県農林水産総合センター普及推進課  
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団  
作 成 岡山県農林水産部農産課  
岡山県農福連携サポートセンター